

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-116669

⑬ Int.Cl.⁴
A 23 L 1/30

識別記号 庁内整理番号
B-6840-4B
A-6840-4B

⑭ 公開 昭和63年(1988)5月20日

審査請求 有 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 栄養補助食品

⑯ 特 願 昭61-264395

⑰ 出 願 昭61(1986)11月5日

⑱ 発 明 者 田 中 美 穂 岐阜県羽島市福寿町平方4丁目41番地
⑲ 出 願 人 日健製薬工業株式会社 岐阜県羽島市福寿町平方4丁目41番地
⑳ 代 理 人 弁理士 佐久間 一夫

明 細 書

1. 発明の名称

栄養補助食品

2. 特許請求の範囲

高麗人參根濃縮液、ローヤルゼリー粉末及び小麦胚芽油を主材料とした配合液に高麗人參花葉濃縮液及びドナリエラサリーナ抽出物を付加し、その配合液をソフトカプセル化したことを特徴とする栄養補助食品。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、高麗人參根濃縮液等を主材料とした配合液に、サポニンの含有量が高麗人參根濃縮液より50%も多い高麗人參花葉濃縮液及び天然β-カロチンを含有しているドナリエラサリーナ抽出物を付加した配合液をソフトカプセル化した栄養補助食品に関するものである。

従来技術

従来、サポニンを主成分にミネラル、β-シートステロール、β-エレメン及び糖類等を成分にしている高麗人參根濃縮液・アミノ酸、ビタミン、ミネラル及び10-ヒドロオキシデセン酸(これはローヤルゼリーしか存在しない)等を成分にしているローヤルゼリー粉末・リノール酸及び天然ビタミンEの原料となる小麦胚芽油の三者を主材料として、個別又は相互に配合したものを使用した数々の栄養補助食品が出来、その効能効果は良く知られている。しかし、これ等の各材料は独特の味や匂いを持つが、天然物であるので成分の酸化や変質が発生し飲み難くかつた。そのため近時食品添加物を混入して飲み易くしたものが出現した。

発明が解決しようとする問題点

本発明では高麗人參根濃縮液、ローヤルゼリー粉末及び小麦胚芽油を主材料とした配合液に、高麗人參根濃縮液より主成分であるサポニンの含有

量が50%も多い高麗人参花実濃縮液及び天然β-カロチンを含有しているドナリエラサリーナ抽出物を付加したことにより、各材料が持つている効能効果をより高め、更にその配合液をソフトカプセル化したことにより、各材料の持つている独特の味や匂いを包含し、全材料が天然物であることにより発生する成分の酸化や変質を防止し、飲み易く、成分を安定した状態に保つことを目的とした栄養補助食品を創案したものである。

問題点を解決するための手段

上記の目的を達成するための本発明を以下説明する。

本発明は、高麗人参根濃縮液、ローヤルゼリー純末及び小麦胚芽油を主材料とした配合液に高麗人参花実濃縮液及びドナリエラサリーナ抽出物を付加し、その配合液をソフトカプセル化したことを特徴とする栄養補助食品である。

作 用

(3)

高麗人参花実濃縮液中のサポニン及び体内で必要に応じてビタミンAに変わるβ-カロチンが加わることになり、上記三者の配合液より効能効果がより高められた。更にその配合液をソフトカプセル化したことにより、各材料の持つている独特の味や匂いを包含し、全材料が天然物であることにより発生する成分の酸化や変質を防止し、飲み易く、成分を安定した状態に保つことが出来、従来の欠点を解消したのである。

実施例

本発明は、上記の目的において、これを合理的に達成した技術的思想の創作に係るものであるが、以下この発明を具体化した手段の一実施例として説明してみると、即ち、高麗人参根濃縮液、ローヤルゼリー純末及び小麦胚芽油を主材料とした配合液に高麗人参花実濃縮液及びドナリエラサリーナ抽出物を付加し、その配合液をソフトカプセル化したことを特徴とする栄養補助食品である。

(5)

本発明は前記のようであるので、次のような作用がある。

高麗人参根濃縮液は、サポニンを主成分にミネラル、β-シトステロール、β-エレメン及び糖類等を成分にしているために、強壮、強心、強精、精力を強める効果を有するもの、ローヤルゼリー純末は、アミノ酸、ビタミン、ミネラル及び10-ヒドロキシデセン酸等を成分にしているために、強壮、強精等養えた機能の向上効果を有するもの、小麦胚芽油は、リノール酸を成分にし、天然ビタミンEの原料となるために、老化の最大の原因である脂質の酸化を防止する効果を有しているもの上記三者を主材料とした配合液に、従来製品への使用例の無いサポニンの含有量が高麗人参根濃縮液より50%も多い高麗人参花実濃縮液及び塩類で成育する微細藻類の一種であり、天然では最高量のβ-カロチンを含有するドナリエラサリーナ抽出物の双方を付加したことにより、

(4)

仍つて、高麗人参根濃縮液、ローヤルゼリー純末及び小麦胚芽油を主成分とした配合液に従来製品への使用例の無い高麗人参花実濃縮液及びドナリエラサリーナ抽出物の双方を付加したことにより、前記三者より効能効果がより高められ、更にその配合液をソフトカプセル化したことにより、各材料の持つている独特の味や匂いを包含し、全材料が天然物であることにより発生する成分の酸化や変質を防止し、飲み易く、成分を安定した状態に保つことが出来る栄養補助食品である。

次に具体的処方例を掲げる。

1. 高麗人参根濃縮液	180 ㏔
2. 高麗人参花実濃縮液	20 ㏔
3. 小麦胚芽油	220 ㏔
4. ローヤルゼリー純末	60 ㏔
5. ドナリエラサリーナ抽出物	30 ㏔
6. その他天然植物油脂等	90 ㏔
合計		600 ㏔

(6)

尚本発明実施において、高麗人参根濃縮液、ローヤルゼリー純末、小麦胚芽油、高麗人参花実濃縮液、ドナリエラサリーナ抽出物及びその他天然植物油脂等の配合率は適宜に変更して良く、又、配合手段及びソフトカプセル化手段等の一連の製造工程は一般公用の手段で良い。

発明の効果

本発明は前記のようであるから、次のような効果を有する。本発明は高麗人参根濃縮液であるサポニンを主成分とし、強壮、強心、強精、精力を強める効果を有するもの、ローヤルゼリー純末である10-ヒドロオキシデセン酸等を成分とし、強壮、強精等衰えた機能の向上効果を有するもの、小麦胚芽油であるリノール酸を成分とし、天然ビタミンEの原料となるので老化の最大の原因である脂質の酸化防止の効果を有しているものの上記三者を主材料とした配合液に、従来製品への使用例の無いサポニン含有量の多い高麗人参花実濃

(7)

ある。又、ソフトカプセル化したことにより食品を食べる通常の行為である口にて食すると云うのでは無く、飲み込むと云う通常と違う行為を成すので、本発明の使用者に新たな興味を与える誠に有効適切な発明と云える。

特許出願人 日健製薬工業株式会社

代理人 佐久間 一夫



縮液とβ-カロチンを含有するドナリエラサリーナ抽出物の双方を付加したことにより、上記三者の配合液より効能効果がより高められた。更にその配合液をソフトカプセル化したことにより、各材料の持っている独特の味や匂いを包含し、全材料が天然物であることにより発生する成分の酸化や変質を防止し、飲み易く、成分を安定した状態で保つことが出来、従来の欠点を解消した栄養補助食品である。尚本発明は、高麗人参根濃縮液、ローヤルゼリー純末及び小麦胚芽油等の主材料の配合液にサポニン含有量の多い高麗人参花実濃縮液及び体内で必要に応じてビタミンAに変わるβ-カロチンを含有するドナリエラサリーナ抽出物を付加した配合液であり、その配合率は用途先に応じて適宜に変更して良いのであり、更に本発明使用の材料は全部天然物であるので、合成品、食品添加物は一切含まれていないから食しても危険性が無い安全かつ効能効果のある栄養補助食品で

(8)

BEST AVAILABLE COPY

(9)